

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	重亜硫酸ソーダ液
製品コード	1240/F020
整理番号	202-0-12
供給者の会社名称	エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1310
担当部門	RC推進部
電話番号	044-540-0110
FAX番号	044-540-0109
緊急連絡電話番号	上記担当部門

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H320 眼刺激 H335 呼吸器への刺激のおそれ
注意書き	
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 (P261) 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
応急措置	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312) 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。 (P337+P313)
保管	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 (P403+P233)
廃棄	施錠して保管すること。(P405) 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

混合物

亜硫酸水素ナトリウム水溶液

亜硫酸水素ナトリウム液

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	65%	H2O			7732-18-5
亜硫酸水素ナトリウム	35%	NaHSO3	(1)-502	既存	7631-90-5

4. 応急措置		
吸入した場合		吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合		皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合		眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合		眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤		情報なし
火災時の特有の危険有害性		燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火
特有の消火方法		消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項		漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。 少量の場合、吸着剤(土・砂など)で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。 必要があれば消石灰、ソーダ灰などで中和する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
二次災害の防止策		床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
保管	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 酸化剤から離して保管する。
	安全な容器包装材料	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
亜硫酸水素ナトリウム	未設定	未設定	TWA 5 mg/m ³ , STEL -
水	未設定	未設定	未設定

設備対策 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具 呼吸用保護具 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
 手の保護具 必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。
 眼、顔面の保護具 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体
 形状 液体
 色 淡い黄色
 臭い 亜硫酸臭
 融点／凝固点 凝固点-15.3℃(但し+8～+2℃で晶析が始まる)
 沸点又は初留点及び沸点範囲 データなし
 可燃性 不燃性
 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
 下限 該当しない
 上限 該当しない
 引火点 引火せず
 自然発火点 不燃性
 分解温度 データなし
 pH 約4.6(25℃)
 動粘性率 データなし
 溶解度 データなし
 n-オクタノール／水分配係数 データなし
 蒸気圧 データなし
 密度及び／又は相対密度 約1.3(25℃)
 相対ガス密度 データなし
 粒子特性 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし
 化学的安定性 一般的な取扱いにおいて安定。
 危険有害反応可能性 空気中で徐々に酸化され、硫酸ナトリウムに変わる。
 酸化剤と激しく反応し、発熱する。
 酸、ハロゲンとは反応性が大きい。
 アルデヒドと付加物をつくる。この付加物は希酸、希アルカリでアルデヒドを再生する。
 加熱すると分解し、Na₂O及びSO₂などの有毒なガスが発生する。
 加熱、混触禁止物質との接触。
 酸(亜硫酸ガス遊離)、酸化剤(激しく反応する)
 硫黄酸化物

避けるべき条件
 混触危険物質
 危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性 経口 データ不足のため分類できない。
 経皮 データ不足のため分類できない。
 吸入 (気体) GHS定義による気体ではない。
 (蒸気) データ不足のため分類できない。
 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／皮膚刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼区分2Bの成分合計が35%のため、区分2Bとした。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	(生殖毒性) データ不足のため分類できない。
	(生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)の成分合計が35%のため、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	データ不足のため分類できない。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	2693
	Proper Shipping Name	亜硫酸水素塩類(水溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
	Class	8
	Sub Risk	Not applicable
	Packing Group	III
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance	Not applicable
	Transported in Bulk	
	According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	
	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
	UN No.	2693
	Proper Shipping Name	亜硫酸水素塩類(水溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
	Class	8
	Sub Risk	Not applicable
	Packing Group	III
国内規制	陸上規制	労働安全衛生法等の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	2693
	品名	亜硫酸水素塩類(水溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
	クラス	8
	副次危険	該当しない

	容器等級	III
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら 積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	2693
	品名	亜硫酸水素塩類(水溶液)(他に品名が明示されているものを除く。)
	クラス	8
	副次危険 等級	該当しない
特別の安全対策		III 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。
緊急時応急措置指針番		154
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) 亜硫酸水素ナトリウム(政令番号:26)(35%)
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)		非該当
海洋汚染防止法		有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法		輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法		腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法		腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法		その他の危険物・腐食性物質(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
水道法		有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
食品衛生法		食品添加物【当社食品添加物規格に限る】
16. その他の情報		
参考文献		ezSDS(JCDB) 職場のあんぜんサイト 国際化学物質安全性カード(ICSC)
その他		全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。